



創立87周年

# 武の子

かしこく うつくしく たくましく  
(since 1969)

鹿児島市立武小学校 学校だより  
〒890-0045 tel099-255-6136  
鹿児島市武1丁目35番31号  
<http://www.keinet.com/takes/>

## 2月号

児童数  
599名  
学級数  
24学級

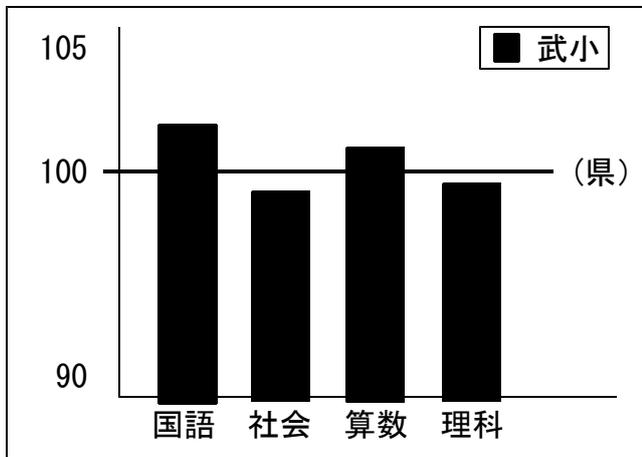
令和6年2月

## 令和5年度「鹿児島学習定着度調査」結果

学校長 杉木 正一郎

鹿児島学習定着度調査は、県内の児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力状況と、学習に関する意識や学び方等の学習状況などを把握し、学校での授業の改善や、家庭での学習の充実に役立てることを目的に、県内の小学5年生と中学1、2年生を対象に毎年1月に行われています。本年度の本校の結果は下のとおりです。

### 1 学力の状況（鹿児島県の平均を100として、本校の結果をグラフで表す。）



4教科とも、鹿児島県の平均とほぼ同程度の結果となりました。5年生全体としては、これまでの授業や家庭学習を通して、これからの子供たちに求められている力（問題を読み何を問われているか理解する力、図や表、グラフ等をお互いに関連させて考える力、相手によく伝わるように文章で表現する力等）がほぼ身に付いていることが分かります。しかし、各教科、問題ごとに見てみると、よくできている問題がある一方、逆にあまり解けていない問題もあります。これらについてはすでに各学級で問題の解説とやり直しを行い、

次に同じような問題が出された時にはしっかりと解答できるように復習をしています。

また、本校は「無解答率」が県平均より低いことも分かりました。「無回答率」とは、解答用紙に何も書かず空欄のまま提出してしまった問題数の割合です。社会では0%となっています。これはつまり、調査を受けた5年生の児童全員が、27問あった全ての問題に、何らかの解答を書いていたということです。

最後の問題まで解けるよう時間配分を考えて問題に取り組んだこと、そして何より、時間いっぱい頭をふり絞って、最後の最後まであきらめず、正解を目指して粘り強く問題を解こうとがんばった子供たちの姿です。

### 2 児童質問紙の結果から

この調査では、子供たちに学習に対する考え方や心構え、学習習慣などについての質問も行われます。質問は全部で35問ありましたが、すべてで概ね良好な回答でした。その中でも、90%以上の子供たちが「当てはまる」「している」「そのとおり」といった肯定的な回答をした質問のいくつかを下に載せます。学習に前向きな気持ちで取り組んでいるとともに、友達と一緒に学ぶことにやりがいを感じている子供が多いという傾向が分かります。

- ・ 授業で学習したことは将来役に立つと思いますか。
- ・ この学年で受けた授業は、自分に合った教え方、学習内容、学習時間になっていましたか。
- ・ 学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- ・ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・ あなたは、「自分たちで考えたり、話し合ったりする授業」で学ぶとやりがいを感じますか。
- ・ あなたは「自分たちで調べて、課題を解決する授業」で学ぶとやりがいを感じますか。 など